

◆企画名	第1回 合宿ワーク～ピア活動での学びについて考えよう！～
日程	平成27年5月28日(木)
場所	第2学舎C301
参加者数	15名(ピア・サポータ4名、研修生4名、学生支援室TA4名、職員3名)
目的	

普段、関西大学ピア・コミュニティの各コミュニティは個別に活動しており、共に活動し、同じピア・サポータであることを感じるための場が春夏の合宿以外めったにない。その合宿さえも近年参加希望者が少なくなっている。そこで全コミュニティ合同でワークを行って、コミュニティの枠を超えてサポータ同士の絆を深めて同じピア・サポータであることを感じる場にしてもらいたい。そして絆が深まることによって春夏の合宿の参加希望者の増加に繋げたい。

なお、合宿ワーク企画は複数回実施予定であり、第1回は、ワークを通してピア活動での学びについて考える機会を提供し、ピアの重要性を再認識してもらうことを目的とする。

内 容

第1回は、教育推進部特任助教である山田嘉徳先生にワークの内容を依頼し、ピア・コミュニティ運営本部と共同でピア・サポータ及び研修生を対象として実施するものである。(ワーク内容)

ピア活動を通して身につけていきたい力などを個人で考え、ポストイットに書き出す。グループに分かれて、ポストイットの内容を分類し、ポストイット同士が関係し合ったり、影響し合ったりしそうなところに見出しや矢印などをつける。そしてまとめたものをプレゼンテーションしてもらい、最後に振り返りを行う。

効 果

- ・今回の企画は他のコミュニティとの交流の促進を目的とした企画であったが、参加者が運営本部のピア・サポータを除くと4名しかおらず、全員が研修生であった。しかし、このうち3名が9月に実施する「サマーワーク 2015」に参加してくれていることを考えると、実施して良かったと思う。
- ・ピアに入ったばかりの研修生だけでなくシニア・サポータにとっても今後のピア活動についてとても参考になるワークであり、本企画の担当者自身もピアについて考え直すきっかけとなった。

改 善 点

- ・アイスブレイクは案としては面白いと思ったが、準備期間が少なく、リハーサルができないまま当日を迎えてしまった。そのため、説明が口頭のみになってしまい、参加者にあまり伝わっていない雰囲気だった。
- ・アイスブレイクの内容が、個人で考えるものになってしまい、参加者間の交流ができていなかった。次回アイスブレイクを考える際は、なるべく参加者間で交流できるものにし、その流れでワークに入れるように注意したい。
- ・山田嘉徳先生にワーク内容を全てお任せしていたため、企画担当者に関わるのが少なかったのもう少し関わることでよかった。

感 想

- ・山田嘉徳先生のワークはピア・サポータにとってピアの活動について改めて考える良い機会になりとても有意義であった。もう一度どこかの機会で行うことができればと思う。
- ・スキルアップのような企画は興味がある人が少ないと感じるが、運営本部としてはこのような現状を理解した上で、ピア・サポート活動において身に付けたいスキルなどの企画を継続的に実施し、スキルアップの企画に少しでも興味を持ってもらえればと考えている。